

早期の立退き避難が必要な区域

家屋が倒壊するような氾濫や河岸の侵食が発生するおそれがある区域や、家屋の最上階も水没するおそれのある区域は、早期の立退き避難が必要です。このような区域では、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難指示等に従って安全な場所に速やかに避難してください。

指定区域の種類

早期の立退き避難が必要な区域

発生する現象と避難行動

堤防決壊等により流速の早い「氾濫流」が発生するおそれがある区域です。木造家屋は倒壊するおそれがあるため、早期の立退き避難が必要です。

家屋が水没するおそれのある区域

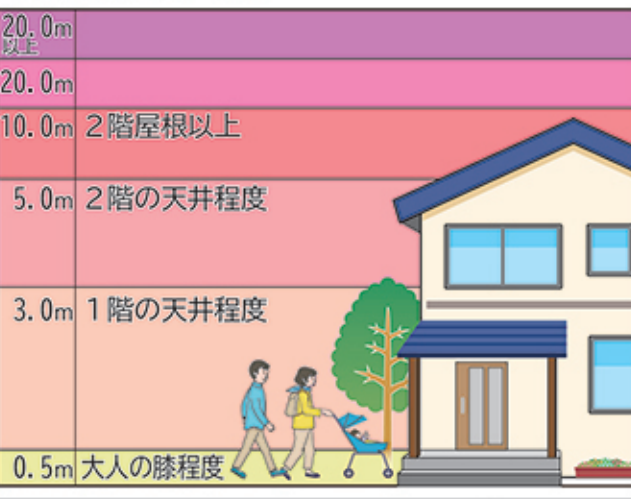
家屋が倒壊するような「河岸侵食」が発生するおそれがある区域です。地面が崩れ、家屋が崩落するおそれがあるため、早期の立退き避難が必要です。

最上階も水没するような浸水のおそれがある区域です。屋内に留まることにより命に危険がおよぶおそれがあるため、早期の立退き避難が必要です。

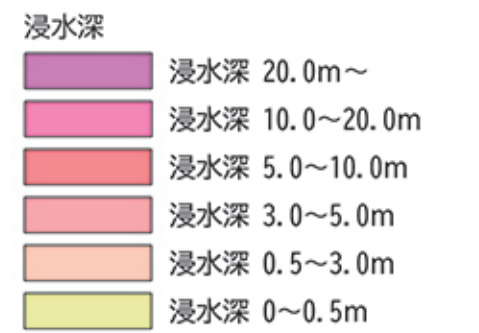
指定避難所一覧表

No	地区	避難所施設名称	所在地	洪水	土砂災害
3	村木	村木コミュニティセンター	村木町1-21	○ (床下浸水)	○
17	本江	魚津市立図書館	本江1940	○ (床下浸水)	○
19	加積	清流小学校	吉島432	2階以上	○
20	加積	東部中学校	吉島1934	2階以上	○
21	加積	加積コミュニティセンター	六郎丸1062	○ (床下浸水)	○
22	加積	魚津高校	吉島945	○ (床下浸水)	○
23	加積	新川高校	吉島1350	2階以上	○
24	道下	道下小学校	北鬼江2741	○ (床下浸水)	○
25	道下	道下コミュニティセンター	北鬼江2-14-15	○ (床下浸水)	○
26	道下	ありそドーム	北鬼江2898-3	○ (床下浸水)	○
27	経田	経田小学校	浜経田665-3	○ (床下浸水)	○
28	経田	経田コミュニティセンター	浜経田466	○ (床下浸水)	○
29	経田	魚津工業高校	浜経田3338	3階以上	○
30	天神	新川学びの森天神山交流館	天神野新147-1	○	○
31	天神	天神コミュニティセンター	天神野新220	○	○
32	天神	新川みどり野高校	木下新144	2階以上	○
33	西布施	西布施地域活性化センター	長引野1290-3	○	○

浸水深の目安

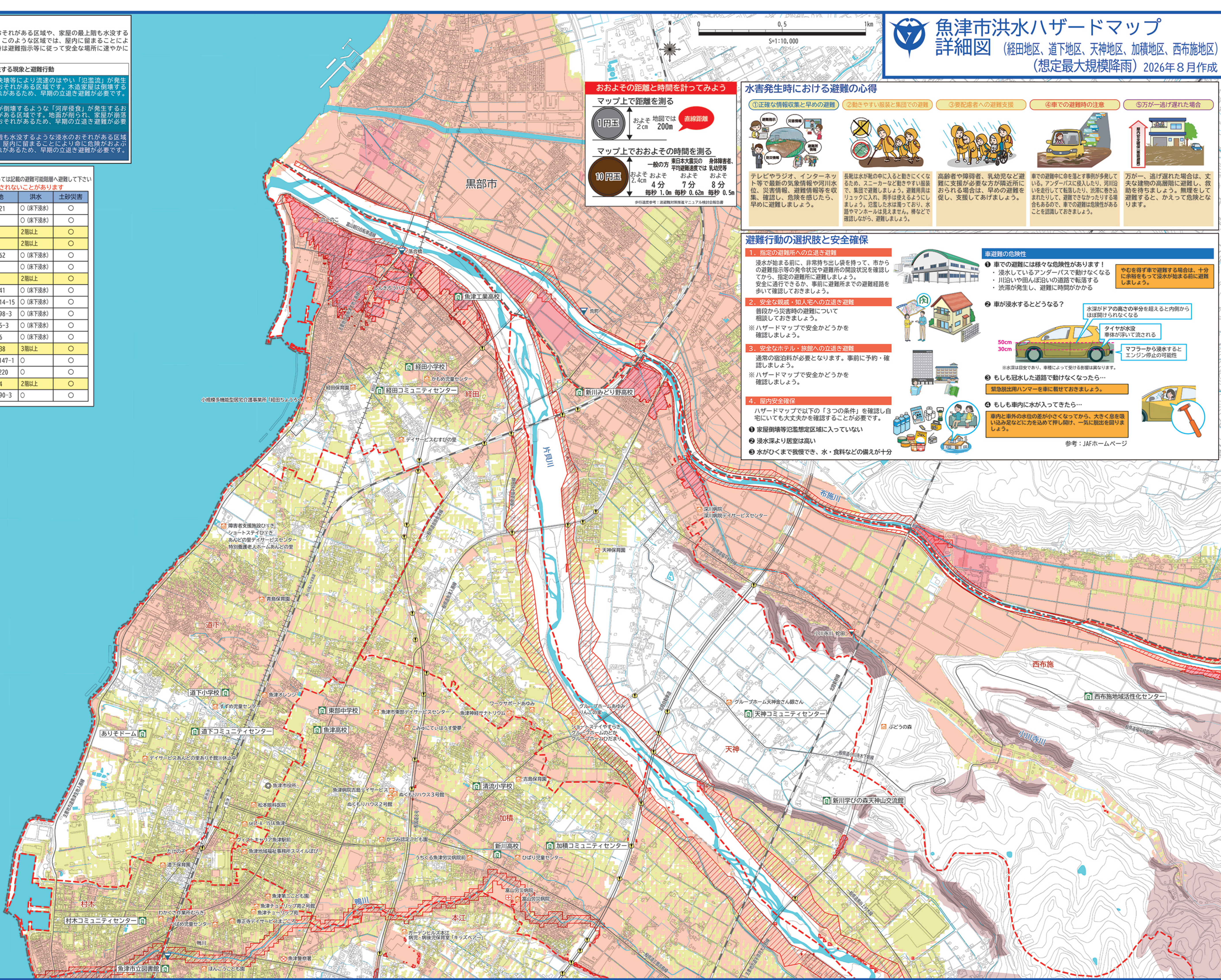


凡例



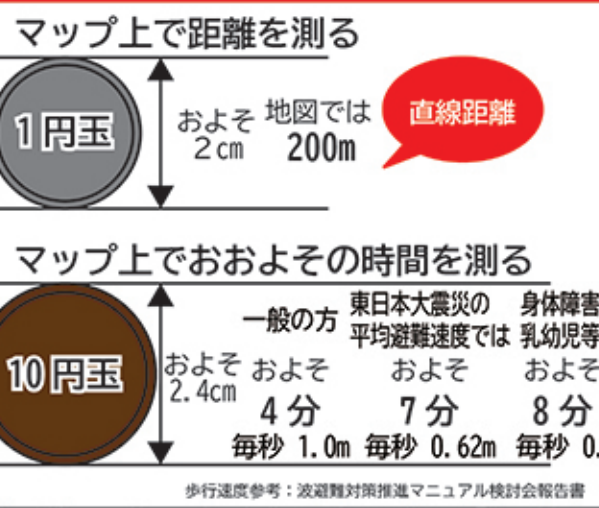
早期の立退き避難が必要な区域 (河岸浸食・氾濫流・浸水深3.0m以上)
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域
※詳細は「土砂災害ハザードマップ」をご確認ください

- 指定避難所
- 要配慮者利用施設
- 避難時の注意箇所 (アンダーパス等、避難する際には注意が必要な箇所です)
- 市役所
- 警察署
- 消防署
- 主な病院
- 水位観測所 (CCTVカメラ含む)
- 危機管理水位計
- 地区界
- 市界



魚津市洪水ハザードマップ 詳細図 (経田地区、道下地区、天神地区、加積地区、西布施地区) (想定最大規模降雨) 2026年8月作成

およその距離と時間を計ってみよう



水害発生時における避難の心得

①正確な情報収集と早めの避難

テレビやラジオ、インターネット等で最新の気象情報や河川水位、災害情報、避難情報等を収集、確認し、危険を感じたら、早めに避難しましょう。

②動きやすい服装と集団での避難

長靴が水の中に入ると動きにくくなるため、スニーカーなど動きやすい服装で、集団で避難しましょう。避難用具はリュックに入れ、両手は使えるようにしましょう。氾濫した水は濁っており、水路やマンホールは見えませんが、標などで確認しながら、避難しましょう。

③要配慮者への避難支援

高齢者や障害者、乳幼児など避難に支援が必要な方が隣近所におられる場合は、早めの避難を促し、支援してあげましょう。

④車での避難時の注意

車での避難中に命を落とす事例が多発している。アンダーパスに侵入したり、河川沿いを走行して転落したり、渋滞に巻き込まれたりして、避難できなかったりする場合もあるので、車での避難は危険性があることを認識しておきましょう。

⑤万が一逃げ遅れた場合

万が一、逃げ遅れた場合は、丈夫な建物の高層階に避難し、救助を待ちましょう。無理をして避難すると、かえって危険となります。

避難行動の選択肢と安全確保

1. 指定の避難所への立退き避難

浸水が始まる前に、非常持ち出し袋を持って、市からの避難指示等の発令状況や避難所の開設状況を確認してから、指定の避難所に避難しましょう。安全に通行できるか、事前に避難所までの避難経路を歩いて確認しておきましょう。

2. 安全な親戚・知人家への立退き避難

普段から災害時の避難について相談しておきましょう。 ※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

3. 安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要となります。事前に予約・確認しましょう。 ※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

4. 屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ② 浸水深より居室は高い
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分

車避難の危険性

① 車での避難には様々な危険性があります！

- ・ 浸水しているアンダーパスで動けなくなる
- ・ 川沿いや田んぼ沿いの道路で転落する
- ・ 渋滞が発生し、避難に時間がかかる

② 車が浸水するとどうなる？

- ・ 水深がドアの高さの半分を超えると内側からほぼ開けられなくなる
- ・ タイヤが水没、車体が浮いて流される
- ・ マフラーから浸水するとエンジン停止の可能性

③ もしも冠水した道路で動けなくなったら…

- ・ 緊急脱出用ハンマーを車に載せておきましょう。

④ もしも車内に水が入ってきたら…

- ・ 車内と車外の水位の差が小さくなってから、大きく息を吸い込み足などに力を込めて押し開け、一気に脱出を図りましょう。

参考：JAFホームページ

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 8JHs 270